

# 青壮年期

## 依存症と家族

# 青年後期のアルコール関連問題

## 臓器障害

- 肝機能障害
- すい臓障害
- 心筋症
- 高血圧
- 糖尿病
- 高脂質血症
- 癌

## 精神障害

- うつ病
- 思考の異常
- 意欲低下
- 睡眠障害
- 性格の変化
- 記憶力の低下
- 自死

## 職業上の問題

- 欠勤、遅刻
- 休職、失職
- 頻回の転職
- 生産性低下
- 労災事故
- 降格、異動

## 結婚・家庭問題

- 夫婦間DV
- 児童虐待
- 暴力
- 世代間連鎖
- アダルト  
チルドレン
- 家計困窮

## 社会的問題

- 飲酒運転
- 失職や離転職
- 社会的信用の  
失墜
- 家庭崩壊
- 孤独死
- 貧困

## アルコール依存症

酔った上での失態も  
たまにはあるけど、ご愛嬌

美味しいというより眠る  
ために酒は欠かせない

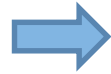


オンライン飲み会は  
終電を気にしないでいいからいつ  
まででも飲めるね♪

このような飲み方を続けていると  
アルコール依存症などの健康障害を引き起こす

# アルコール依存症は進行性

機会飲酒(20代前半)

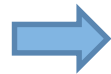


習慣飲酒(20代後半)



精神依存(30代前半)

身体合併症(30代)



身体依存(離脱症状)  
40歳前後



死亡(50歳前半)

## 【機会飲酒】

宴会とかコンパとか、一段落したときになどの何か飲酒の機会があるときだけ飲むというのが二十代前半の頃の飲み方でしょう。

## 【習慣飲酒】

社会人になり、あるいは結婚生活に入って、仕事帰りの一杯、晩酌の習慣が生まれるようになります。また、仕事に関係する機会飲酒の頻度も増えます。毎日のように飲酒するのが当たり前の生活になります。次第に、耐性ができ酒量は増えていきます。いつの間にか精神依存へと変化させていく場合もあります。

## 【アルコール関連問題が心身に】

健康診断で肝臓、胃、膵臓などの消化器系の異常や生活習慣病を指摘され始めます。この段階で自らの飲酒行動を見つめなおし、適切な対応をとらないと、次第に飲酒をコントロールすることができなくなっていくます

# D.V.犯行時の飲酒、60%超

刑事処分を受けるほどのDV事件例では犯行時の飲酒は67.2%に達していたという報告があり、日本においては、**飲酒をして暴力が発生**することが男性に多いという特徴が指摘されています。

アルコール依存症者においては、断酒後には激減することから、依存症レベルでは飲酒と暴力との関連は明確と

いえます。その一方でアルコール問題を持つ女性のアルコール依存症者は、夫をはじめとした家族からの暴力を受けやすいようです



# 児童虐待の背景にもアルコール問題

酔って暴力をふるうという**身体的虐待**だけでなく、**心理的虐待**にも親のアルコール問題は大きな影を落としています。

昼間は温厚な父親が夜になると酔って暴言を繰り返す姿は、子どもにとって恐怖です。親の二面性を見ることが自体、子どもには大きな混乱と不安を呼び起こしま

す。また、母親が依存症の場合には、**ネグレクト**（育児放棄）が起きやすいといわれています



# 依存症は世代をまたぐ！

AC（アルコール依存症家庭で育った人）が、さまざまな生きにくさを抱えやすいと言われていています。子どもは無意識に親から、好ましいことも、好ましくないことも学んでしまいます。そして自分も結婚し家庭を持つと、**無意識に親から学んだことを実行する**場合が多いのです。父親に飲酒問題がある家庭に育った男性は、**成人後に飲酒問題を抱えるリスクが高い**ことが数々の調査で指摘されています。「**飲酒を最優先にする生き方**」という不適切なストレス対処行動を学習することや、健康な感情表現・コミュニケーションのモデルが得られないことなど、環境による影響も大きいと言われていています

# アダルトチルドレンってなに？

AC(アダルト・チルドレン Adult Children) とは、子どものころに、**家庭内トラウマ (心的外傷)** によって傷ついた経験をひきずり、現在生きる上で支障があると思われる人たちのことです

- ✓ 親の期待に添う生き方に縛られ、自分の感情を感じられなくなってしまった人…
- ✓ 誰かのために生きることが生きがいになってしまった人…
- ✓ 良い子を続けられない罪悪感や、居場所のない孤独感に苦しんでいる人…

「**アダルトチルドレン**」という言葉は、診断名ではありません。

自分の育ってきた環境、親や家族との関係を振り返って自分自身を理解するための、1つのキーワードとして活用することができます

# 問題飲酒による社会的信用の失墜

飲酒による遅刻・欠勤、仕事上の約束を忘れる、ミスが重なる、重大な失敗をおかす等、周囲との人間関係トラブルにより、飲酒に絡む問題を持つ人は信用を失い、**失職、離・転職**にもつながりやすい

**飲酒運転**人身事故件数は長期的には減少傾向にあるが依然として撲滅には至っていない

→違反者の多くに、**未治療の依存症患者が少なくない**と推測されている!



**STOP!** 飲酒運転





# 依存症の進行と共に**貧困**に至る家族も少なくない

失業や離転職の繰り返し、借金などで、いったん生活が困窮すると、こうしたストレスがさらに飲酒問題に拍車をかけることになりやすいといわれています。

酒を飲み続けることが最優先となっている日常は、次第に破綻を招きます。

貧困から脱出する手がかりを得ることが難しくなります。

アルコール問題は、**貧困の世代間連鎖の背景のひとつ**でもあるといえます

